

生涯学習

学童保育の充実について

Q 常勤の指導員を置くことや、未実施の宮城野地域で行うことなど、学童保育の拡充について伺う。

A まず、常勤指導員の配置については、現在クラブの指導員として、「きんときらクラブ」に8人、「湯本ことまクラブ」に5人の計13人により、それぞれ輪番で指導に当たっていただき、運営をしている。

常勤の方々に、地域の人材や教育力を活用するという観点から、学童保育の指導員のみならず、学校週5日制対策事業をはじめ、地域の各種行事等にも指導者として活動していただいている。

これは、指導員自身の生涯学習にもつながり、また、児童にとっても地域のおじさんおばさんということでも、まさに地域による「子育て」の裾が広がっているものと認識し

ており、今後も常勤を雇用することなく、現在の形式をとっていきたいと考えている。

健康福祉

子どもの虫歯と防虫歯について

Q 虫歯予防として、フッ化物の塗布と洗口を実施すべきと考えるが。

A 平成13年度の当町の3歳児歯科検診での「虫歯罹患率」は37.9%と県平均の26.9%を大きく上回っていたことから、町では平成13年度から歯科医師会の協力を得て検診時のフッ化物の塗布を積極的に行ってきた結果、平成15年度の「虫歯罹患率」

は30.1%と大きく改善されたが、依然県平均の25.0%を上回っており、今後も子どもの虫歯予防対策に力を入れていかなければならないと考えている。

次に、フッ化物の洗口については、国の「フッ化物洗口ガイドライン」では、虫歯予防に極めて有効な方法として、その普及と推進が示されており、町としても保育園・幼稚園での集団によるフッ化物洗

口を実施したいと考え、現在歯科医師会と協議をしている。

また、健康日本21に基づく「健康増進計画」の策定については、子どもの虫歯予防も含め、より一層の住民の健康づくりを進めるため、前向きに検討をさせていただきたいと思っている。

土地利用

箱根新道出入口交差点処理に伴う交通渋滞について



箱根新道出入口交差点

Q 次の2点について伺う。
1 年末年始の渋滞解消対策について

2 小田原箱根道路工事の進捗状況について

A 1 点目について、

「お帰りの際は箱根ターミナルバイパスや国道138号經由御殿場方面へ迂回」と記述し、併せて地図も掲載したチラシ2万枚を作成し、美術館や博物館等の観光施設、旅館・ホテル等の宿泊施設、カソリンスタンド等に配布をし、観光客への周知を図った。

また、町内6箇所に設置してある看板についても、明確に迂回先を表示するとともに、新たに看板を3箇所増設した。

なお、仙石原の「星の王子様ミュージアム」前の県道と「箱根ホテル」前の国道1号に設置した交通情報板が機能を果たしていないことから、渋滞情報として観光客にわかりやすい表示へ変更してもらおうよう小田原警察署長へ要望したところでもある。

2 点目については、まず、全体工事については、平成19年度末の全面供用開始を予定しており、現在90%程度の進捗率である。次に、小田原箱根道路と箱根新道が相互に直接アクセスできる時期については、最後の詰め段階に入っており、工事施工のため現在箱根新道出入口が平面交差点による信号処理を行っている。

本年度に入り、国土交通省横浜国道事務所長が何回か来訪され、その際に年度末には段階供用ができるよう強くお願いしており、平成17年3月末日までの完成を確信しているが、さらに強く国へ要望していきたく思っている。

